

■ 学校の共通目標

授業作り	重点	○どの子も分かる授業（ユニバーサルデザイン） ○協働的な学び（対話重視）	中間評価		最終評価	
環境作り		○支持的風土（認め合い、支え合い、高め合う集団）を形成し、自己発揮できる環境。				

■ 学年の取組内容

学年	教科	学習状況の分析（10月）	課題（10月）	改善のための取組（10月）	最終評価（2月）	
1	国語					
	算数					
学年	教科	学習状況の分析（4月）	課題（4月）	改善のための取組（4月）	中間評価・追加する取組（10月）	最終評価（2月）
2	国語	<div>学ノートやプリントの書かれた状況を見ると、7割の児童は「てにをは」や拗音、撥音の表記が適切だが、誤りがある児童がまだ3割程度いる。</div> <div>学新出漢字の画数が多く、誤りが多い。</div>	○「話すこと聞くこと」については、日直等の活動や普段の授業の中で行っているが、聞こえる声ではっきり話す、聞く人に注意を向ける。 ○「書くこと」については、順序や内容をよく考えて書く。	○1学期は、話すポイント、聞くポイントを繰り返し伝え、定着を図る。 ○1学期は、正しい言葉の表記を身につけるよう、ノート指導や作文指導等で確認をしていく。手本を示しながら書く内容を考えさせ、指導していく。		
	算数	<div>学ノートの書き方については、定着しているが、自分の考えや図や言葉で説明することが難しい児童もいる。</div> <div>学数量感覚が乏しく、繰り上がり繰り下がりの計算や、時計の読み方が難しい児童が数名いる。</div>	○図や絵で自分の考えを説明できるようにしていく。	○1学期は、タイル図、絵の書き方を復習しながら自分の考えを表現できるようにする。 ○1学期は、繰り返しの計算練習を行っていく。		
3	国語	<div>調「読むこと」については平均より20ポイント近く低い。</div> <div>調「話すこと・聞くこと」については、正答率が区の平均よりやや低い。</div> <div>学読書が好きな児童が多い、漢字を書くことや読むことを好きな児童が多い。</div>	○人物の心情を想像しながら物語文を読む。 ○大事なことを落とさないように静かに聞く。	○個人の読み取りの時間を確保する。発表場面では相互交流をする機会を設け、さらにノートなどに記述する。 ○話し方の「かきくけこ」・聞き方の「あいうえお」掲示をし、意識させる。		
	算数	<div>調計算の技能は定着している児童が多いが、水の量、長さなどの量感を問う問題は、正答率が区の平均よりやや低い。</div> <div>学自分の考えを表現することに苦手意識があり、さらに表現方法についても課題が見られる。</div>	○暗記が中心になっており、量感を伴った理解ができるようにする。 ○多様な方法で考えを表現し、説明できる力を身に付ける。	○実際に図ったり、比べたりして、児童が量感を実感できる算数的活動の時間を増やす。 ○友達のことを読み取ったり、自分の考えに取り入れたりできるよう、交流する場面を充実させる。		
4	国語	<div>調どの分野も区の平均点数を上回っているが、国語辞典の使い方や「書く力」が平均をやや下回っている。</div> <div>学物語文などの「読む力」を高める必要がある。</div>	○書く活動を多く取り入れる。 ○語彙、想像力など豊かに表現する力を高める。 ○漢字の習熟を徹底する。	○教科書の「書くこと」の単元を徹底指導し、身に付けさせる。 ○年間指導計画を見直し、学期に2～3回は意図的に書く活動を入れる。 ○成長ノートや日記を通し、毎週書くことを継続し、書き慣れることを目指す。 ○一人の読み、全体交流など様々な読む活動を取り入れる。 ○児童による関連図書紹介や読書カードの活用を通し、主体的な読書活動に取り組ませる。 ○小テスト、宿題で基礎学力の定着を目指す。		
	算数	<div>調どの分野も区の平均点数を上回っているが、倍の問題、式と図の照合などが平均をやや下回っている</div> <div>学立式や計算ミスが目立つので、このつまずきに応じた指導が必要である。</div>	○数量関係をつかめるようにする。 ○先取り学習をし、答えだけを求める傾向が見られるので、解決の過程を大切にする習慣を付ける。 ○ひき算、かけ算といった基本的な計算を丁寧にできるようにする。	○基準量、比較量を数直線で表し、数量関係をつかみ、立式できるようにする。 ○週に数回、技能スキルを高める活動を取り入れる。 ○自力解決時に様々な表現方法で解決させる。またノートに友達の考えを書かせる。 ○ベーシックドリル、100マス計算、宿題等で基礎学力の定着を図る。		

5	国語	<div>調</div> 「読むこと」については、正答率が全国平均より11ポイント以上高い。 <div>学</div> 読書が好きな児童が多い。物語文などの読解力が高い。書く力をさらに高める必要がある。	<div>調</div> ○「話すこと・聞くこと」では、自分が伝えたい内容、押さえたい内容が伝わるように簡潔に話したり、詳しく話したりする工夫をする。大切な部分を落とさないように聞く。 <div>学</div> ○「書くこと」では、書く内容を明確にし、伝えたいことが相手に伝わるようにまとまりを考えて文章の構成を考える。	<div>調</div> ○一人読み、群読など様々な音読の仕方を経験させる。 <div>学</div> ○国語科以外でも、「話す・聞く」場面を意図的に設ける。 <div>調</div> ○手本となる児童の「よい話し方・聞き方」を全体で共有しながら意識させる。 <div>学</div> ○「成長ノート」等を通し、自分の考えや気持ちを整理しながら書く習慣を身に付けさせる。		
	算数	<div>調</div> 「数と計算」の正答率が、区・全国の平均を共に下回っていた。観点別では、数量や図形についての知識・理解が他に比べて低い。 <div>学</div> 理解に時間を要す児童がいる。	<div>調</div> ○数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を捉えられるようにする。 <div>学</div> ○1時間の学習内容をしっかり理解し、わからない内容は積極的に質問できるようにする。	<div>調</div> ○東京ベーシックドリルを活用し基礎・基本の定着を図る。 <div>学</div> ○家庭学習で、既習内容の反復練習を行う。 <div>調</div> ○教え合いをさせることで全体の理解力を上げる。 <div>学</div> ○授業前に意図的に、5分間「数と計算タイム」を設け、既習内容を定着させる。 <div>調</div> ○毎時間のねらいを明確に知らせる。		
6	国語	<div>調</div> どの観点においても目標値および全国平均を上回っているが、活用の「表現力」が自治体平均を4ポイント下回っている。 <div>学</div> 読むことへの意欲の高い児童は多い。 <div>学</div> 感じたことや考えを文章にすることに苦手意識をもっている児童や、語彙をもっと豊かにしたい児童がいる。	<div>調</div> ○「書くこと」では、自分の考えを明確にし、相手に伝わるように文章の構成を考えたり、表現を工夫したりする。 <div>学</div> ○「話すこと・聞くこと」では、相手を意識して、自分の考えが伝わるように言葉を選んで話す。大切な部分を落とさずに聞き、聞いたことに対して自分の考えをもつ。	<div>調</div> ○国語に限らず、どの教科においても学習感想として自分の気付きや考えを書くことで、自分の考えを文章で表現する力を身に付けさせる。 <div>学</div> ○聞き方に重点を置き、また、目的や相手を意識して話すことを徹底することで、安心して話ができる学級づくりをする。 <div>調</div> ○朝の会や帰りの会、学級活動においても「話す・聞く」活動を設定し、どの児童もその経験を積み重ねられるようにする。		
	算数	<div>調</div> 「基礎」「活用」共に自治体平均および全国平均を上回っているが、「図形」が全国平均を下回っており、中でも「合同」のポイントが低い。 <div>学</div> 既習事項の定着度に個人差があり、その差が非常に大きい。	<div>調</div> ○課題解決の過程を重視し、丁寧に正確に取り組む習慣を身に付ける。 <div>学</div> ○全ての児童が一単位時間の学習内容を十分に理解し、既習事項を活用する。	<div>調</div> ○考え方を交流することに重きをおき、多用な考えに気付かせる。 <div>学</div> ○三展開それぞれの児童の実態に合わせて、既習事項の復習を行う。 <div>調</div> ○東京ベーシックドリルを活用し基礎・基本の定着を図る。		
音楽	<div>学</div> 意識をして「聴くこと」については、少しずつできるようになってきているが、感じたことを工夫して表現することに課題がある。 <div>学</div> 音楽の基礎的な力が身につけている児童は多いが、もっと高めたい。	<div>調</div> ○「聴く」ことの大切さを学び、意識をして聴き、自分が表現するときに生かすことができるようにする。	<div>調</div> ○範唱や範奏を聴き、リズムや旋律を演奏するだけでなく、楽曲のよさや演奏の優れているところを感じ取り、表現に生かすことができるようにする。 <div>学</div> ○歌詞の意味を考えさせを大切にすることで、表現に生かすようにする。			
図工	<div>学</div> 図画工作科の授業や作ること描くことに対する意欲は高く、意欲的に取り組む。その一方で、学年や発達段階に応じた道具の使い方や技能をさらに身に付けるようにしたい。また、テーマに合わせて発想力を発揮し豊かなイメージを広げる力を高める必要がある。	<div>調</div> ○のこぎりや彫刻刀、くぎ打ち等安全指導が必要な道具について経験を積ませ、思い通りに使えるようにする。 <div>学</div> ○自分のアイディアやイメージに自信を持ち、豊かに楽しんで表現できるようにする。	<div>調</div> ○いろいろな道具や材料を扱う経験を保障し、安全指導とともに身に付くまで繰り返し題材に取り込む。 <div>学</div> ○イメージを広げるきっかけとなるテーマ設定を精選し、魅力的な導入や子に応じた声かけを行い、児童の想像力を育む授業を行う。			

調

…新宿区学力定着度調査の結果から見える学習状況

学

…授業での様子や提出物、作品、ワークテスト等から見える学習の状況